

国民体育大会（成年、少年）、中学都道府県対抗選手選考基準

1 成年男女

① 一次選考会【前年度国体出場選手（九州ブロックを含む。）は免除】

男子ベスト8，女子ベスト4を二次選考会へ推薦する。

② 二次選考会

一次選考会で推薦された選手及び前年度国体出場選手で総リーグ戦を行い、男子は上位6ペア、女子は上位4ペアを最終選考会に推薦する。

③ 最終選考会

二次選考会で推薦された選手及び強化指定選手で総リーグ戦を行い、上位1ペアを決定する。また、全日本シングルス選手権大会のベスト32以上の選手及び熊本県シングルス選手権大会のベスト4以上の選手を含め、シングルの試合を実施し、シングルの試合内容及び各指定大会の成績、強化練習会での成果を基に残る1ペアと1人を強化委員会が推薦し、県連常任理事会の承認を得て、選手5人を国体代表選手とする。

2 少年男女

① 最終選考会出場枠について

最終選考会の出場枠は、県高校選手権及び県高校総体個人戦のベスト4のペア、ハイスクールジャパンカップ予選シングルのベスト4並びに県連盟から推薦する若干名（中学生を含む。）とする。ただし、上記の選手が何らかの理由で最終選考会に出場できない場合は、当該校の顧問が最終選考会の前日までに強化委員会に連絡し、補充の必要性がある場合には強化委員会で推薦し、理事会の承認を得る。

② 国体代表選手の選考について

ア 最終選考会の結果を基に強化スタッフで代表候補選手を決定する。

イ 代表選手については、7月に強化スタッフで推薦し、常任理事会の承認を得る。

③ 監督及びコーチについて

ア 平成30年度

男子：平成29年度の体制を維持しながら県高校総体の結果等を踏まえ決定する。

女子：県高校総体団体優勝校の監督を国体少年女子の監督とする。同監督が辞退又は指導員資格を有していない場合は、同監督が指名する者を監督とする。その他のコーチスタッフは監督に一任する。

3 中学都道府県対抗

(1) 一次選考会

【参加資格】

以下の①～⑤の条件をクリアした選手で一次選考会を行う。

① ジュニア審判資格取得者または申請済みの者

② 技術等級取得者または申請済みの者

③ 熊本県新人戦(個人戦)ベスト16のペア(九州ジュニア出場ペア)

- ④ 前年度のU 1 4 選抜選手
- ⑤ 中学委員会推薦選手

【選考方法】

本部で組んだ一次リーグ1・2位は最終選考会に進出。それ以外のペアは、結果を考慮し、もう一度本部でリーグ戦を組み、数ペアを最終選考会に進出させる。さらに中学委員会推薦で2名（必ずしも推薦しなくてもよい）を推薦してよい。

(2) 最終選考会

- 1日目は、午前中にシングルのゲームを行う。その様子でペアリングをし、午後と2日目の午前中はダブルスのゲームを行う。2日目の午後は、その結果や内容を参考にしながら、様々な対戦を本部で組み、ゲームを行う。（これは基本とするが、状況によっては変更もある。）
 - この時点で、基本的に8名に絞る。しかし、状況によっては若干多めに選考することもあり得る。その際は、12月の強化や九州ジュニアの様子を見ながら、1月上旬に決定する。最終的に選考した8名を強化する中で、ダブルス3ペア、シングル2名を決定する。
 - 都道府県対抗熊本県選抜チームのメンバーがケガ等により参加できなくなったときには、選考会に出場して選手の中から補充する。その場合、熊本県選抜チームのスタッフと協議の上、補充選手を決定する。
- ※ 九州選抜大会に関しては、U 1 4 チームを結成しないため、地区対抗の上位2チームを代表とする。

(3) スタッフについて

スタッフは中学委員会で推薦する。ただし、そのスタッフが必要と思えば、外部からのコーチを中学委員会に推薦できることとする。その際、本人への打診は、中学委員会で検討した上で、中学委員会委員長もしくは強化委員長から行う。